

令和5年度 「経営層人権啓発講座」

SDGsの現状と課題 ～折り返し地点をむかえて見えてきたもの～

2023年9月15日

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク
理事・事務局長 新田英理子

0. 自己紹介

- ・1970年(昭和45年) 富山県高岡市生まれ
- ・京都精華大学(京都市内)を卒業後、東京の民間企業で3年半勤務
- ・退職後、1年間環境NPOでアルバイトを行いながら、いくつかのNPOにボランティアでかかわる
- ・1998年(平成10年)4月より、特定非営利活動法人日本NPOセンターにて最初の正職員として20年間勤務
- ・2014年(平成26年)8月より、事務局長(2017年3月末で退任)
- ・2017年(平成29年)4月より、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク(以下、SDGsジャパン)と日本NPOセンターを兼務
- ・2019年(平成31年)4月より、SDGsジャパン事務局長
その年の総会にて理事に就任し、現在に至る

専門活動分野

市民社会のSDGs推進。NPO支援全般、企業とNPOの社会貢献活動に関するコーディネート、NPO法に関わる非営利法人制度、等

その他:法政大学、東洋大学非常勤講師、STI for SDGs(科学技術振興機構)審査員、グローバル・ネットワーク・ジャパンSDGsタスクフォースメンバー等



始める前に

本日の時間の使い方

1. SDGsの現在地を確認する
2. 目標16と17 連携に必要なこと
3. 達成に向けた課題とその解決に向けて

目的：人権の考え方がバージョンアップされている中で、SDGsとの関係性における理解を深める

質 問

01

**SDGs認知度90%以上の日本
で、最も取りくまれている
SDGs目標は？**

質問

02

SDGs認知度90%以上の日本で、ご自身の実感として、最も取りくみたいSDGs目標は？

質 問

03

SDGsがいろいろと言われている今、ランチタイムに取り組みたいSDGsは？

い. 地産地消食 に. 多様性配慮食

ろ. 社会貢献食 ほ. 環境配慮食

は. 健康増進食

質 問

04

自分へのご褒美にケーキをかう
としたら、美味しさに加えて、あ
なたがケーキを選ぶ基準は？

い.

豪華さ

に.

人権配慮

ろ.

価格

ほ.

環境配慮

は.

健康志向

へ.

ブランド

質 問

05

地域のサステナビリティ(持続可能性) = **共生社会**づくりに一番重要なことは何ですか？

い.

地域経済が発展・成長すること

ろ.

地域の福祉が充実すること

は.

地域環境の多様性が保全されている事

に.

地域の防災や安全対策が推進されている事

質問
06

SDGs推進にとって、一番の
障壁は何だと思いますか？
(ご自身の実感として)

い.

進捗状況が見えづらいこと

ろ.

世界の課題と日本や地域の課題に
距離感を感じることに

は.

SDGsを流行としてとらえ、表面的な
こと

に.

日本の目標が設定されていないこと

ラストの質問です！

SDGs達成期限2030年まで
残り7年。
2030年は
何歳ですか？

また、7年前（2016年、
平成28年）は、
何歳で、何を一番の
課題として業務し
ておられましたか？？



動画:SDGs5周年時

<https://bit.ly/2Gb0yCj>



再確認せざるを得ない・1

このままでは 日本・世界・地球は 持続不能

⇒と、多くの人を実感し始めているのではない
か？？（コロナパンデミック、ウクライナ危機）

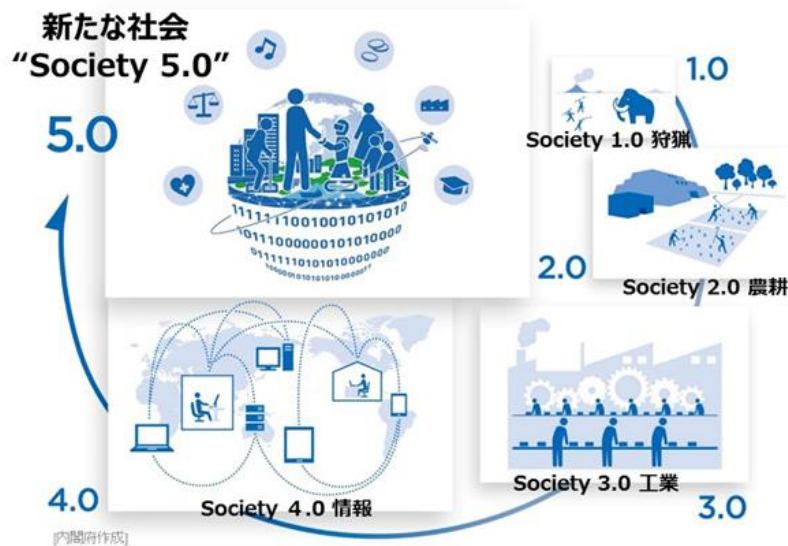


再確認をせざるを得ない前提・2

明治維新以来の
産業も、人々の生活も
環境も、大変革期に入っ
た？

「ソサエティ5.0」と「科学技術イノベーション」

「ソサエティ5.0」の歴史観(内閣府)



科学技術が人間生活に与える「可能性」が強調される一方、産業・経済・社会・文化・環境が「全的に」変わるが、それについてのイメージは示されていない。

←ここでは、「社会が全的に変わる」イメージ(狩猟採集⇒農耕⇒工業⇒情報⇒新たな社会)

内閣府提供の「ソサエティ5.0」イメージ



日本では、SDGsの認知度は90%まで上がっていますが……

SDGsレポート2023(国連が発表)では、5重苦(①コロナ、②ウクライナ、地球の危機<気候危機、人口爆発、生物多様性>)によって、後退している。

コロナ

気候変動

ウクライ
ナ危機



私たちが

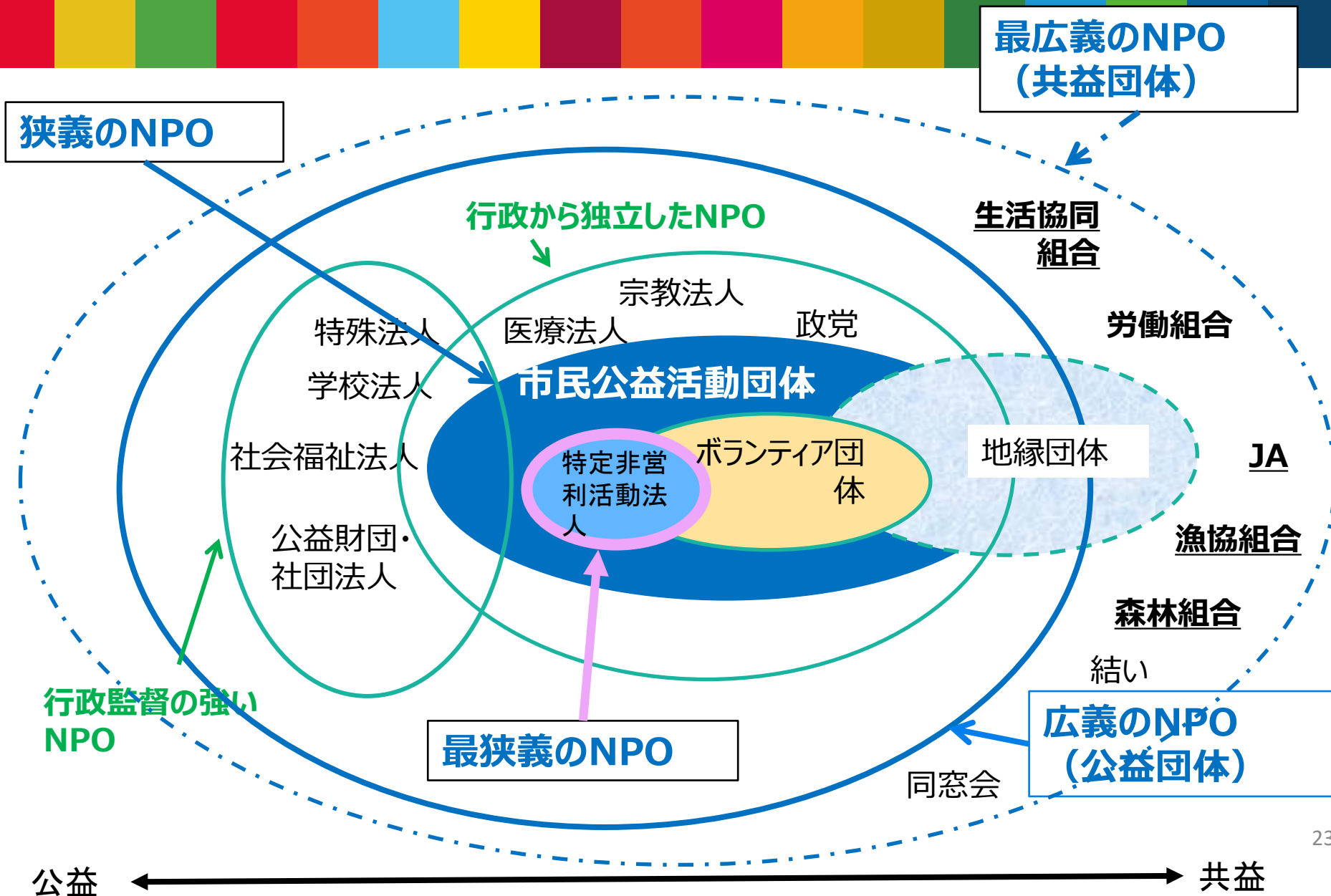
目指したい社会は

どんな社会??

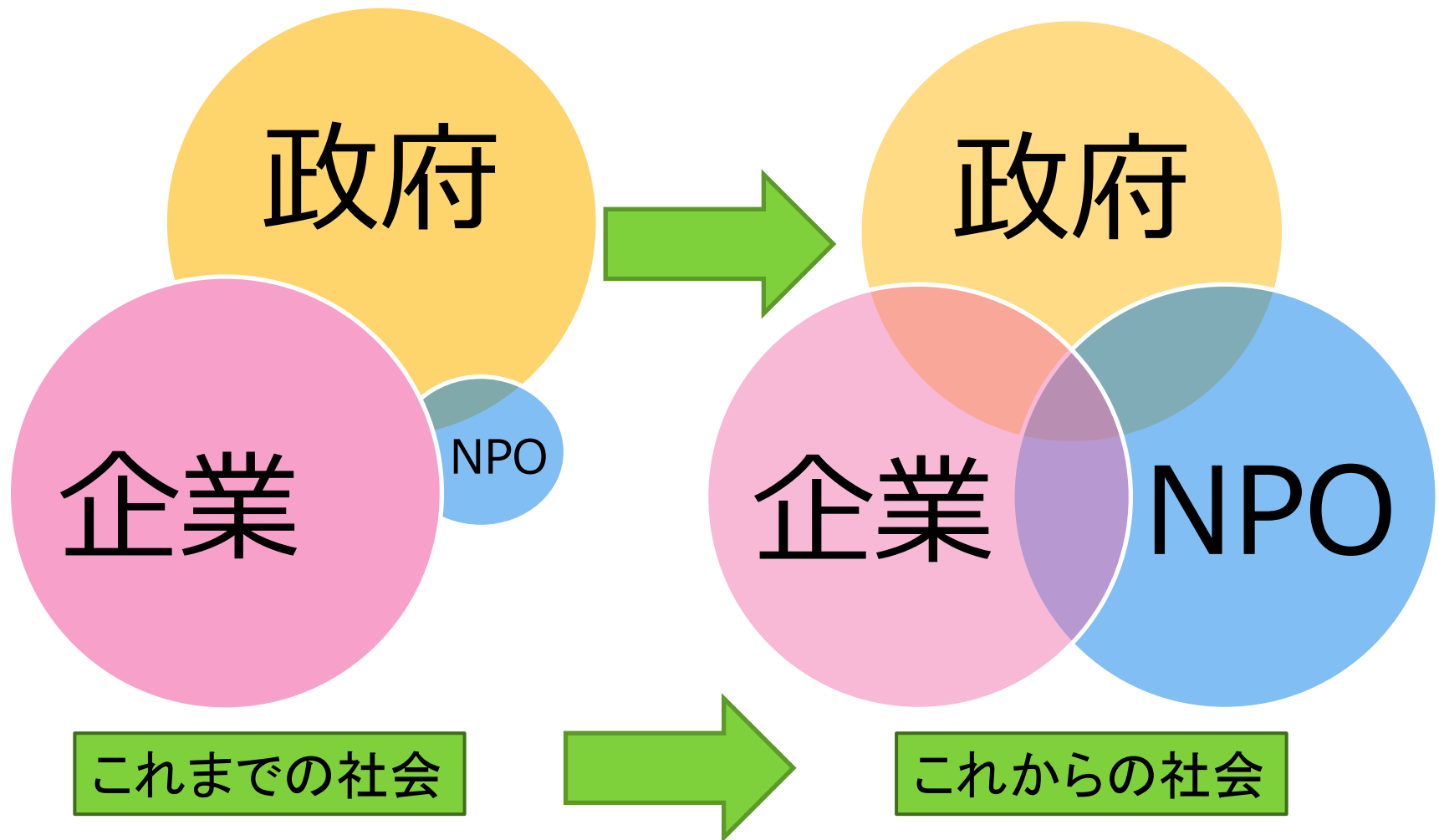
社会を行政・企業・NPOの側面から見ると？

セクター	第1セクター	第2セクター	第3セクター
主体	行政	企業	NPO
組織理念	社会的合意	最大利益	共感
行動原理	手続き	競争	参加・協力
特性	画一性・公平性	対価性	先駆性・多様性 個別性・提言性
活動範囲	全体的	選択的	部分的

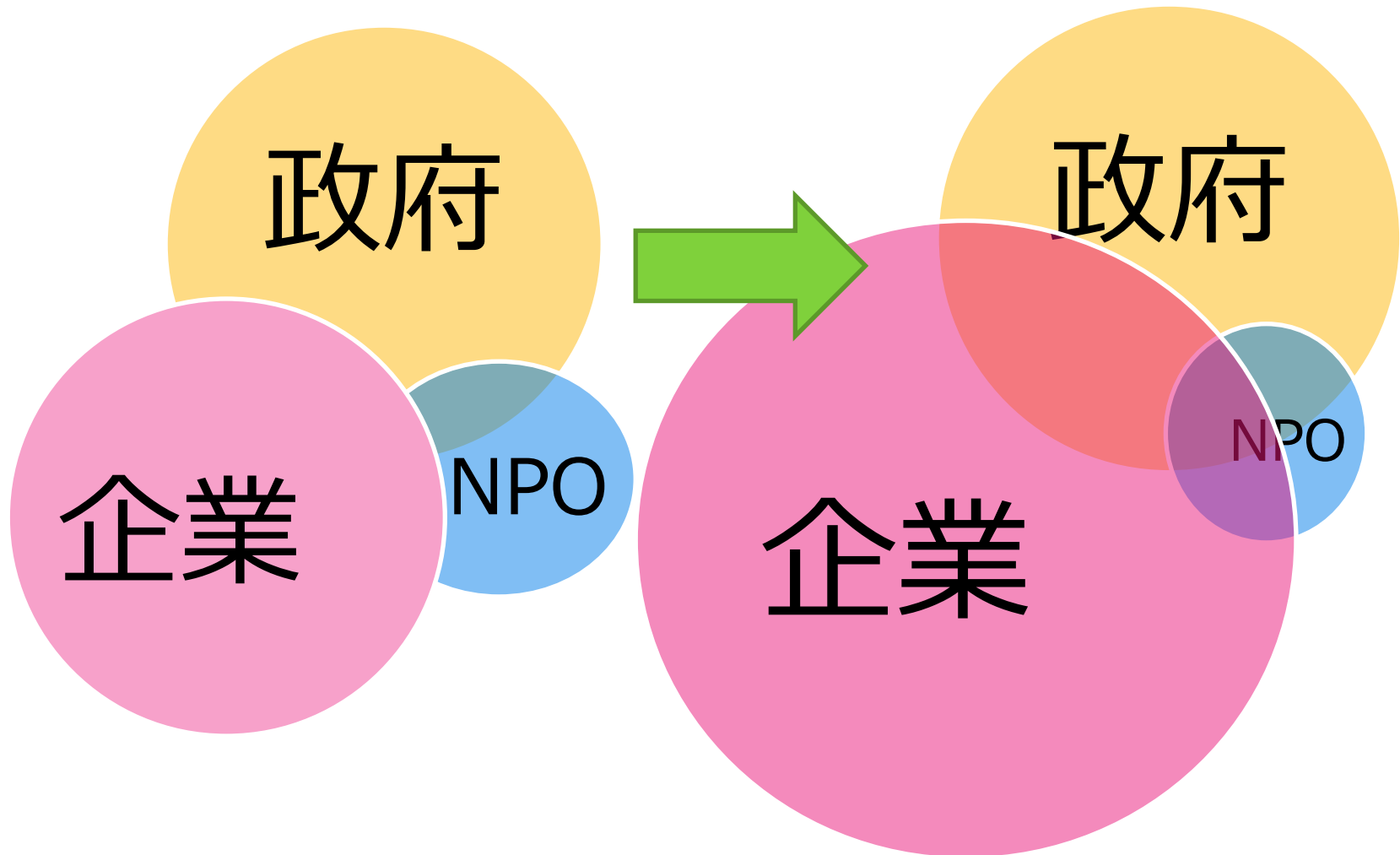




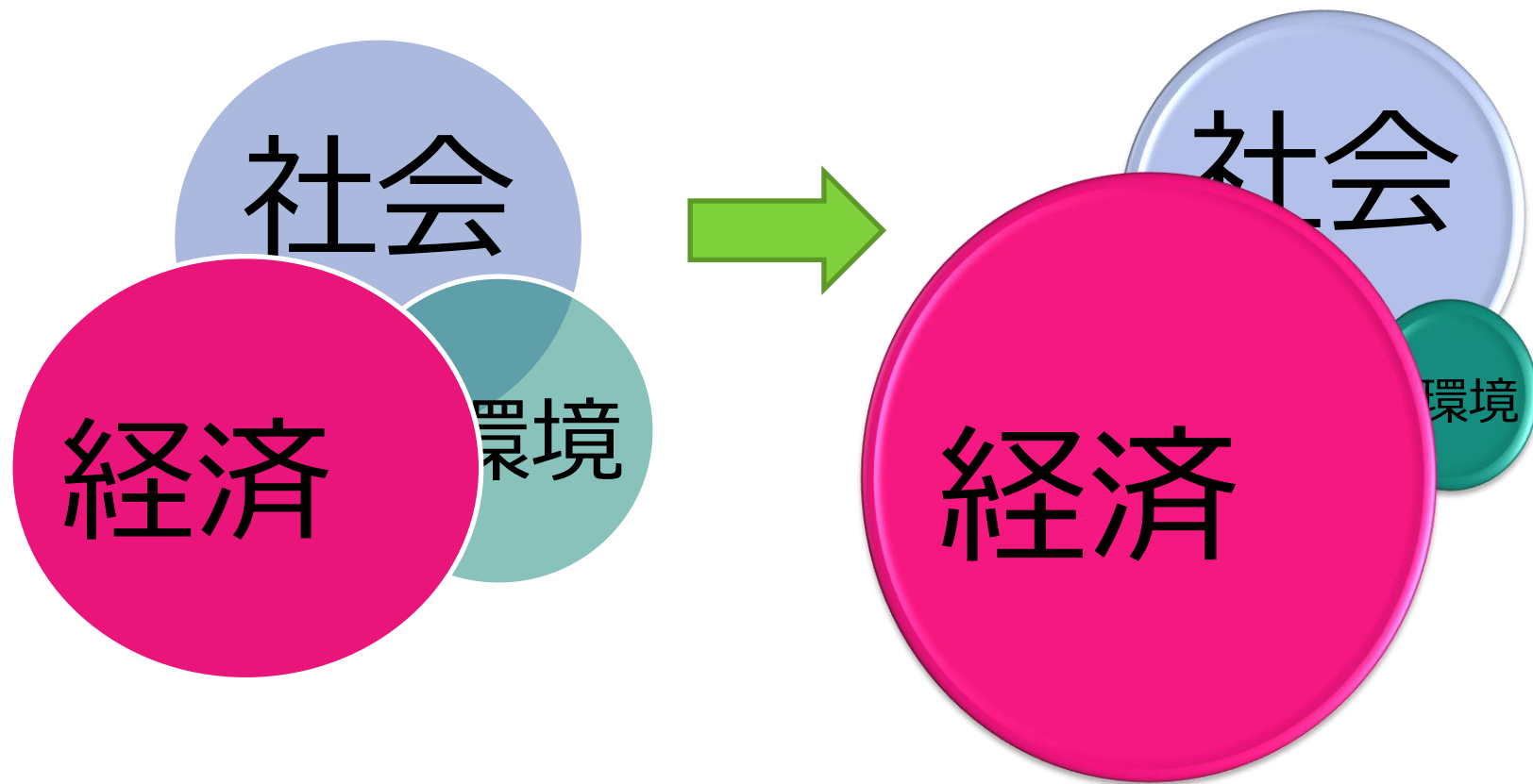
1990年代にされていた議論



最近顕著な状況？！



社会（世界?!）のバランスが……



本来のバランス?!

財務資本、知的資本

ECONOMY
経済

PRODUCTIVITY
生産性

人的資本、製造資本



働きがいも
経済成長も



産業と技術革新の
基盤をつくらう



パートナーシップで
目標を達成しよう



人や国の不平等を
なくそう



つくる責任
つかう責任

SOCIETY
社会

EQUITABLE ACCESS
公平なアクセス

社会関係資本



貧困を
なくそう



住み続けられる
まちづくりを



平和と公正を
すべての人に



エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



すべての人に
健康と福祉を



質の高い教育を
みんなに



ジェンダー平等を
実現しよう



飢餓を
ゼロに

BIOSPHERE
生物圏



陸の豊かさも
守ろう



海の豊かさを
守ろう

農業、林業、等
Zero Deforestation

淡水
Water Neutral

自然資本

海洋
持続可能な漁業、等

温暖化緩和・適応
Zero Carbon

RESILIENCE
レジリエンス



安全な水とトイレ
を世界中に



気候変動に
具体的な対策を

KEY MESSAGES

The Sustainable Development Goals Report 2023: Special Edition

**EMBARGOED UNTIL
MONDAY, 10 JULY 2023, AT 12:00 PM EDT**

REPORT [WEBPAGE](#)



➤ **Halfway to 2030, the promises enshrined in the SDGs are in peril.**

The SDGs are in peril. The world has entered an age of polycrisis and hard-earned SDG progress is threatened by the climate crisis, conflict, gloomy global economic outlook and lingering COVID-19 effects. *The Sustainable Development Goals Report 2023: Special Edition*

SDGsの今

Figure 2.1

World SDG Dashboard at the midpoint of the 2030 Agenda



Source: Authors' analysis

出典: SDSNレポート2023<https://s3.amazonaws.com/sustainabledevelopment.report/>

SDGsの今

JAPAN

OVERALL PERFORMANCE

COUNTRY RANKING

21 /166

COUNTRY SCORE



REGIONAL AVERAGE: 77.8

SDG DASHBOARDS AND TRENDS



■ Major challenges
 ■ Significant challenges
 ■ Challenges remain
 ■ SDG achieved
 ■ Information unavailable
↓ Decreasing
 → Stagnating
 ↗ Moderately improving
 ↑ On track or maintaining SDG achievement
 ● Information unavailable

Note: The full title of each SDG is available here: <https://sustainabledevelopment.un.org/topics/sustainabledevelopmentgoals>

OECD Countries

AVERAGE PERFORMANCE BY SDG

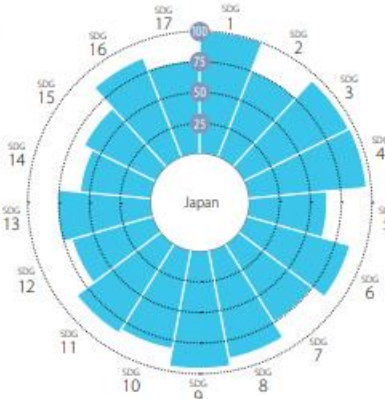


Figure 2.3

The 2023 SDG Index: score and rank

Rank	Country	Score
1	Finland	86.8
2	Sweden	86.0
3	Denmark	85.7
4	Germany	83.4
5	Austria	82.3
6	France	82.0
7	Norway	82.0
8	Czechia	81.9
9	Poland	81.8
10	Estonia	81.7
11	United Kingdom	81.7
12	Croatia	81.5
13	Slovenia	81.0
14	Latvia	80.7
15	Switzerland	80.5
16	Spain	80.4
17	Ireland	80.1
18	Portugal	80.0
19	Belgium	79.5
20	Netherlands	79.4
21	Japan	79.4
22	Hungary	79.4
23	Slovak Republic	79.1
24	Italy	78.8

出典: SDSNレポート2023 <https://s3.amazonaws.com/sustainabledevelopment.report/>

SDGsの今

「持続可能な開発報告書2023」に見る日本と世界の SDGsの進捗状況



6月21日、「持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）」は、その中心メンバーであるジェフリー・サックス／コロンビア大学教授をはじめとする複数の専門家たちによって執筆された、世界全体と各国のSDGsの達成状況を指数化し順位付けしている年次報告書「持続可能な開発報告書（Sustainable Development Report）2023」を発表しました。日本の順位は166カ国中21位（前年比－0.2

点、2ランク低下）となり、11位だった過去最高の2017年以降、SDGs進捗は停滞傾向にあることが分かりました。

出典：
SDGs市民社会
ネットワークHPより

参考：政府のSDGs推進体制

- ・ SDGs推進の体制
- ・ **SDGsアクションプラン**の作成
- ・ 8つの優先課題
- ・ ステークホルダーの役割

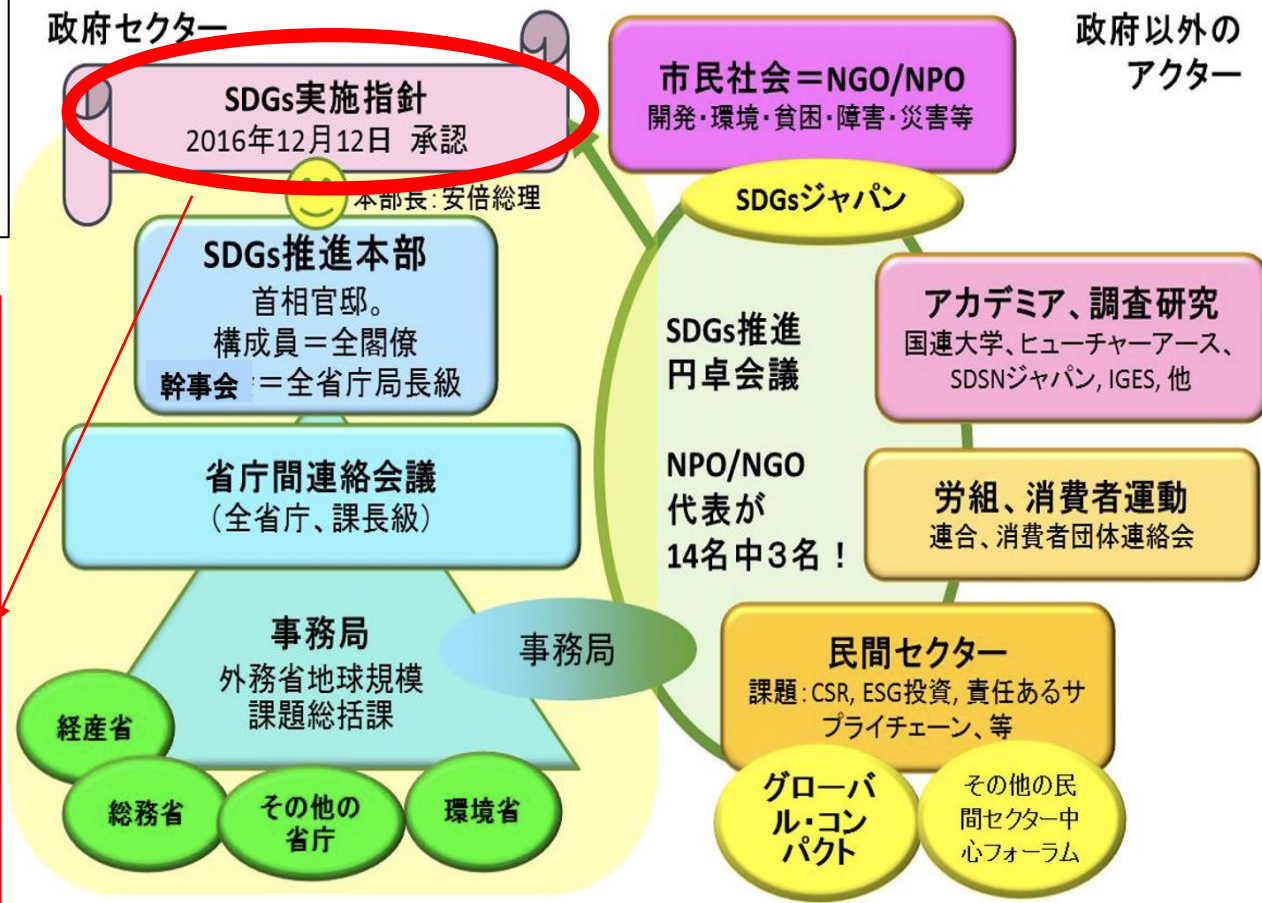
4年ごとに改定

国連SDGサミット開催年

前回の改定は**2019年12月**

- ・ 円卓会議による「ステークホルダー会議」の開催(9/6)
- ・ 優先課題に「ジェンダー」の追記(パブコメの28%がジェンダーに関する内容)
- ・ 「貧困/格差」に関する言及が弱い

SDGs実施指針：日本のSDGs施策の最上位の行政文書



地方創生SDGsの達成に向け、優れたSDGsの取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」として選定し、その中で特に優れた先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として選定して支援し、成功事例の普及を促進しています。

SDGs未来都市所在地



本日の時間の使い方

1. SDGsの現在地を確認する
2. 目標16と17 連携に必要なこと
3. 達成に向けた課題とその解決に向けて

目的：人権の考え方がバージョンアップされている中で、SDGsとの関係性における理解を深める

目標1～15の達成に必要

目標16: 平和と公正をすべての人に



持続可能な発展のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で**説明責任のある包摂的な制度**を構築する。

目標17: パートナーシップで目標を達成しよう



目標達成のために必要な**行動を強化**し、持続可能な発展に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する。

SDGs達成にはパートナーシップが欠かせない！

SDGsは誰が達成するのか？

17 パートナリツプで
目標を達成しよう



**持続可能な開発に向けて
実施手段を強化し、
グローバル・パートナ
リツプを活性化する**

資金

- | | |
|------|--|
| 17.1 | 課税及び徴税能力の向上のため、開発途上国への国際的な支援なども通じて、国内資源の動員を強化する。 |
| 17.2 | 先進国は、開発途上国に対するODAをGNI比0.7%に、後発開発途上国に対するODAをGNI比0.15～0.20%にするという目標を達成すると多くの国によるコミットメントを含むODAに係るコミットメントを完全に実施する。ODA供与国が、少なくともGNI比0.20%のODAを後発開発途上国に供与するという目標の設定を検討することを奨励する。 |
| 17.3 | 複数の財源から、開発途上国のための追加的資金源を動員する。 |
| 17.4 | 必要に応じた負債による資金調達、債務救済及び債務再編の促進を目的とした協調的な政策により、開発途上国の長期的な債務の持続可能性の実現を支援し、重債務貧困国(HIPC)の対外債務への対応により債務リスクを軽減する。 |
| 17.5 | 後発開発途上国のための投資促進枠組みを導入及び実施する。 |

技術

- | | |
|------|---|
| 17.6 | 科学技術イノベーション(STI)及びこれらへのアクセスに関する南北協力、南南協力及び地域的・国際的な三角協力を向上させる。また、国連レベルをはじめとする既存のメカニズム間の調整改善や、全世界的な技術促進メカニズムなどを通じて、相互に合意した条件において知識共有を進める。 |
| 17.7 | 開発途上国に対し、譲許的・特恵的条件などの相互に合意した有利な条件の下で、環境に配慮した技術の開発、移転、普及及び拡散を促進する。 |
| 17.8 | 2017年までに、後発開発途上国のための技術バンク及び科学技術イノベーション能力構築メカニズムを完全運用させ、情報通信技術(ICT)をはじめとする実現技術の利用を強化する。 |

キャパシティ・ビルディング

- | | |
|------|--|
| 17.9 | 全ての持続可能な開発目標を実施するための国家計画を支援するべく、南北協力、南南協力及び三角協力などを通じて、開発途上国における効果的かつ的を絞った能力構築の実施に対する国際的な支援を強化する。 |
|------|--|

貿易

17.10	ドーハ・ラウンド(DDA)交渉の受諾を含むWTOの下での普遍的でルールに基づいた、差別的でない、公平な多角的貿易体制を促進する。
17.11	開発途上国による輸出を大幅に増加させ、特に2020年までに世界の輸出に占める後発開発途上国のシェアを倍増させる。
17.12	後発開発途上国からの輸入に対する特惠的な原産地規則が透明で簡略的かつ市場アクセスの円滑化に寄与するものとなるようにすることを含む世界貿易機関(WTO)の決定に矛盾しない形で、全ての後発開発途上国に対し、永続的な無税・無枠の市場アクセスを適時実施する。

体制面

政策・制度的整合性

17.13	政策協調や政策の首尾一貫性などを通じて、世界的なマクロ経済の安定を促進する。
17.14	持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する。
17.15	貧困撲滅と持続可能な開発のための政策の確立・実施にあたっては、各国の政策空間及びリーダーシップを尊重する。

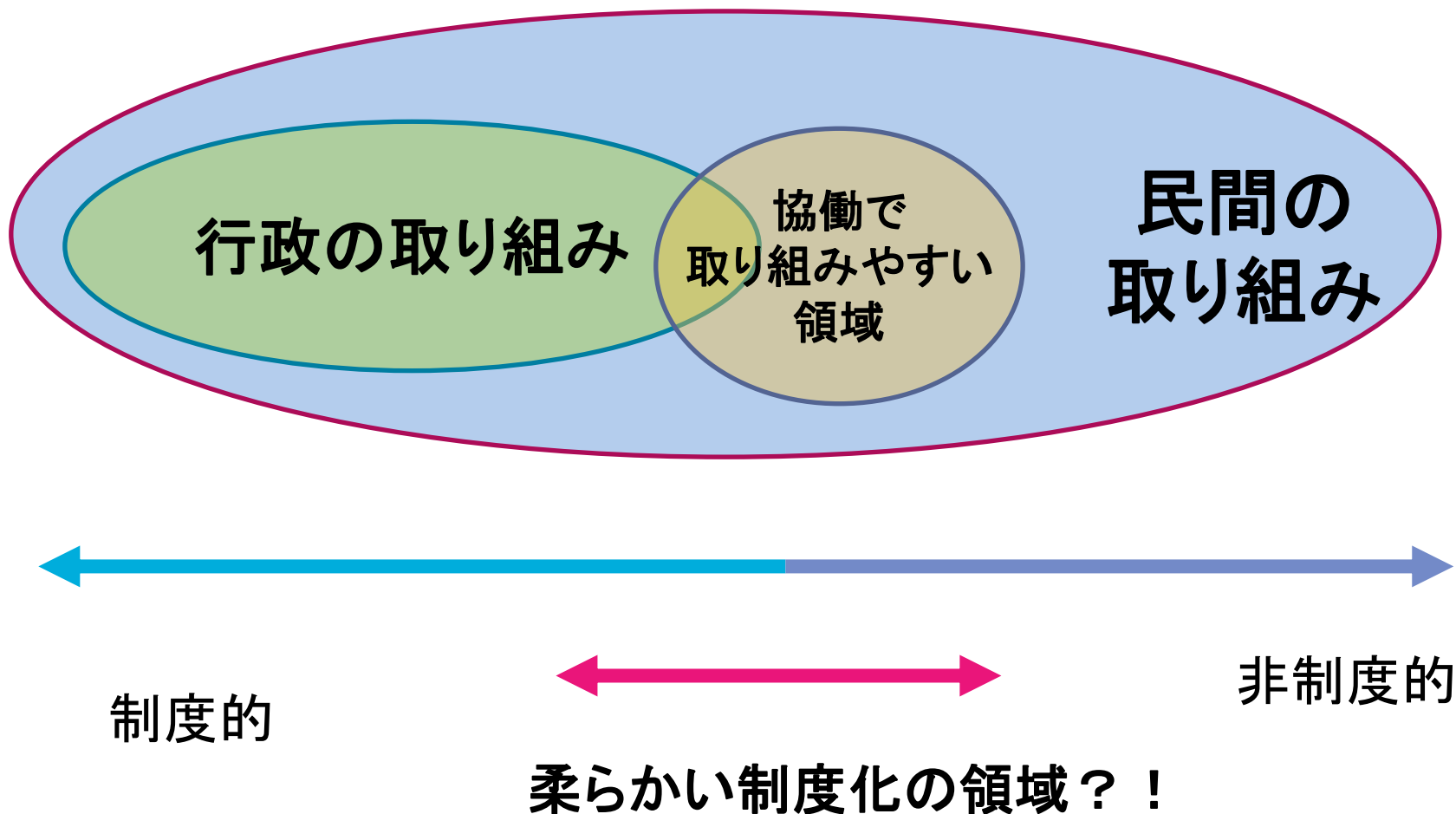
マルチステークホルダー・パートナーシップ

17.16	全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。
17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

データ、モニタリング、説明責任

17.18	2020年までに、後発開発途上国及び小島嶼開発途上国を含む開発途上国に対する能力構築支援を強化し、所得、性別、年齢、人種、民族、居住資格、障害、地理的位置及びその他各国事情に関連する特性別の質が高く、タイムリーかつ信頼性のある非集計型データの入手可能性を向上させる。
17.19	2030年までに、持続可能な開発の進捗状況を測るGDP以外の尺度を開発する既存の取組を更に前進させ、開発途上国における統計に関する能力構築を支援する。

取り組みやすい協働の領域



SDGs時代の協働とは？

	SDGs以前	SDGs以降
定 義	異なる組織同士が、多種多様なリソースを持ち寄って、共通の目的のために活動（働く）すること	だれも取り残さずに、地球を未来に引き継ぐために、あらゆるリソースを総動員して、ともに活動（働く）すること
目 的	協働が目的化しがち	2030年の世界の有り様を目的に
役 割	行政・企業・NPOを分けて考えがち	組織も個人も、行政も、企業も、NPOも立場を超えることが肝
価 値	続くことがよいとされがち	課題を中心に据えて解消されることを良しとする方向に
評 価	貨幣換算が良いとされがち	持続可能性を基準に？

市民社会組織の視点の必要性

市民社会は、社会のアンテナ

(課題を抱える市民一人一人の代弁者)

「私たちの事を私たち抜きで決めないで

(Nothing About us without us)」←ユースの環境団体が使っている

SDGs時代

既存のあり方を壊し、
考え・創造する時代へ

どんなに良い仕組みができて、生活者でもある私たち一人一人が、
使い、チェックをし、声に出すことが重要 (サステナビリティ革命が必要)

年齢・性別・障がいの有無・SOGI・民族などなど細分化されたデータが重要

→多様な価値観を言語化し、伝える必要性

今こそ、当事者中心の価値観を社会に伝えるとき

→社会的インパクト投資の「社会的」を指標化するチャンス

→SDGsの「社会」×「経済」×「環境」の不可分性をアピール！

本日の時間の使い方

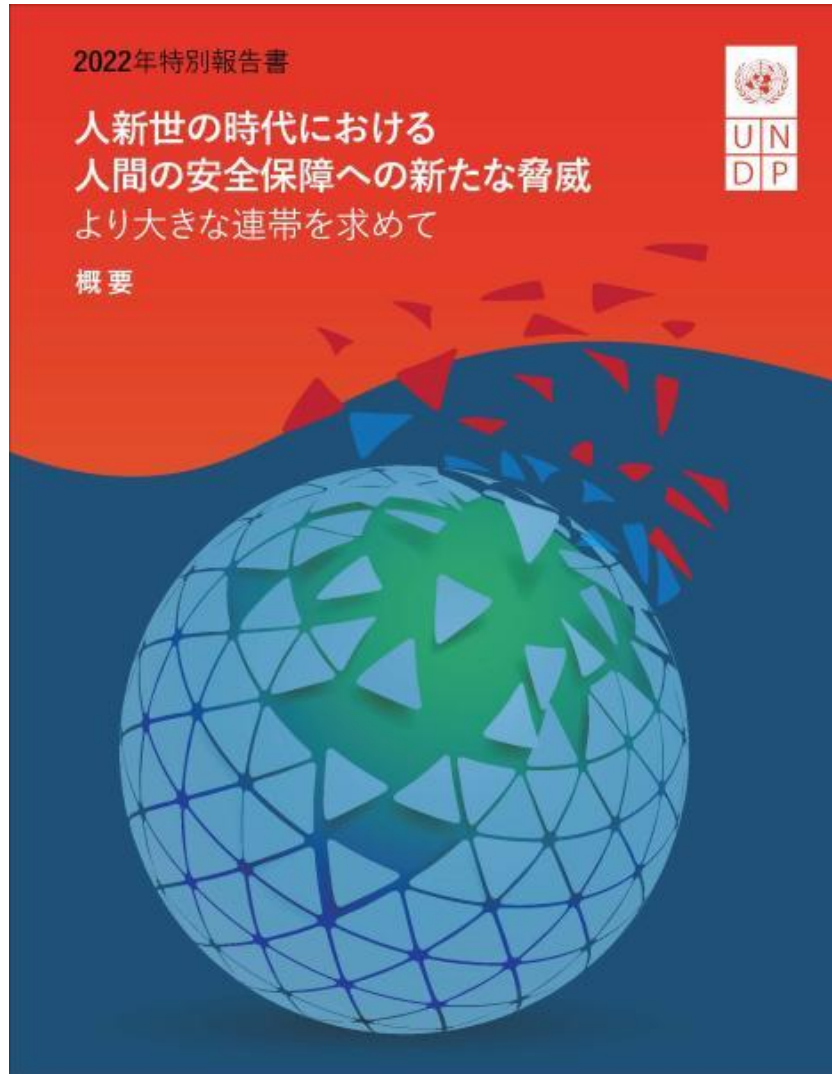
1. SDGsの現在地を確認する
2. 目標16と17 連携に必要なこと
3. 達成に向けた課題とその解決に向けて

目的：人権の考え方がバージョンアップされている中で、SDGsとの関係性における理解を深める

SDGs達成のための5つのポイント

1. 5つの危機を乗り越える
2. 5つの実施原則と3つの重要要素を再確認する
3. 17目標、169ターゲット、を5Pでとらえなおす
4. 3方よしから5方よしに価値観を転換する
5. マルチステークホルダープロセスを理解する

1. 5つの危機を乗り越える



SDGs策定時2015年から、
現在の世界の状況(危機)が
深化している現実を、認識す
る必要がある

1. 気候危機
2. 地政学的危機(ウクライナ
危機等)
3. 食料危機
4. テクノロジーの危機
5. 人々の意識の危機

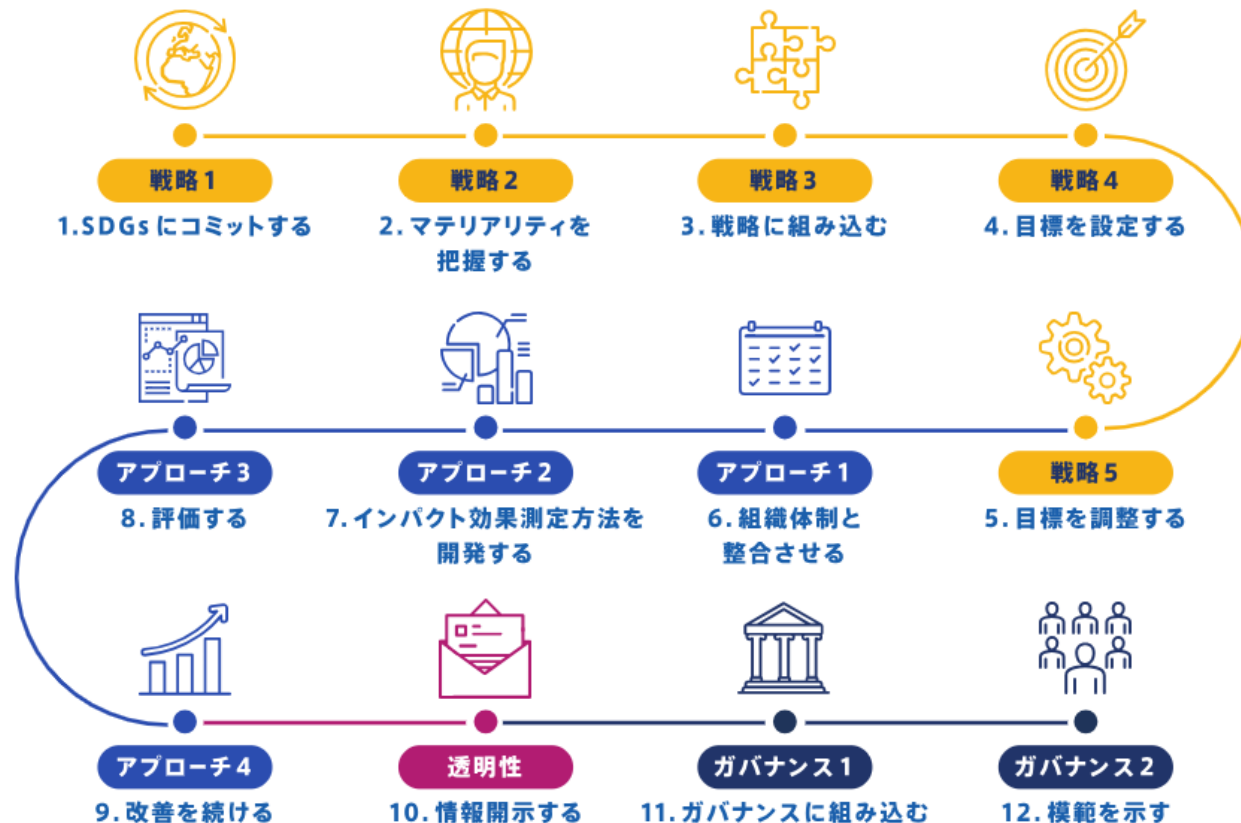
出典: <https://www.undp.org/ja/japan/>

1. UNDPが提唱しているSDGsインパクト



駐日代表事務所

SDGインパクト



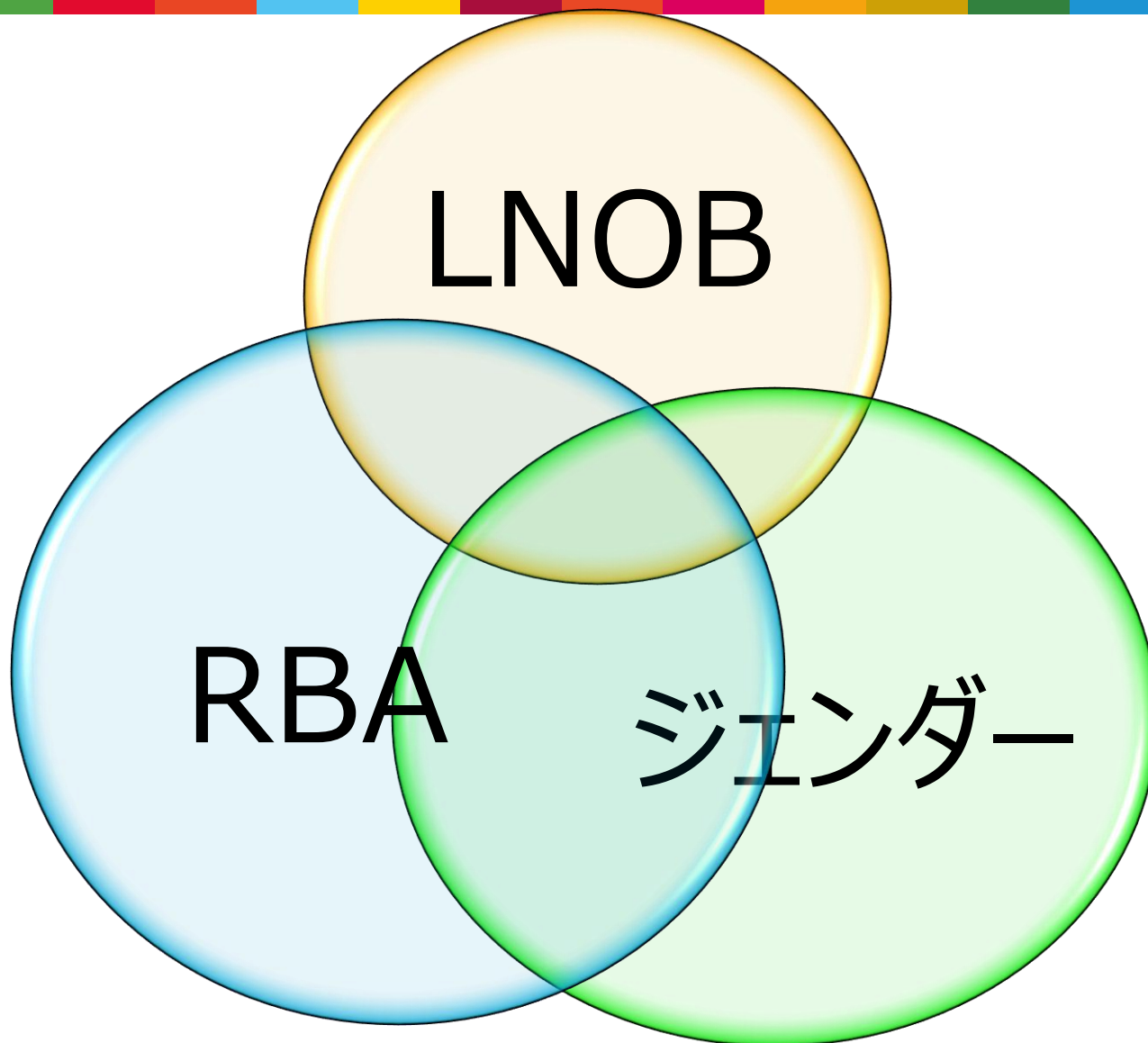
出典: <https://sdgimpact.undp.org>

2. 5つの原則を再確認する

1. 普遍性	すべての国に適用
2. 包摂性	だれひとり置き去りにしない(LNOB)
3. 参画性	あらゆるステークホルダーや当事者の参画を重視
4. 統合性	統合され不可分。経済・社会・環境
5. 透明性と説明責任	定期的に評価、公表し、説明責任を果たす

出典：2016年12月22日日本政府実施指針より

2. 3つの重要要素を再確認する



3. 17目標、169ターゲット、を5Pでとらえなおす

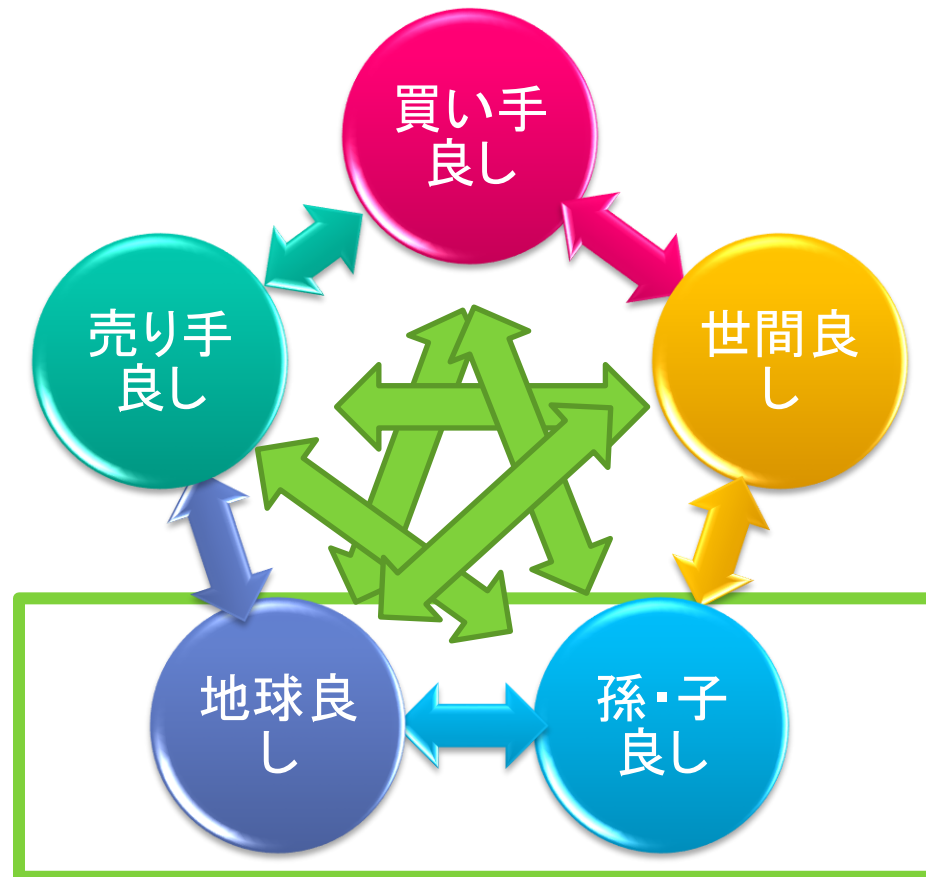


4. 3方よしから5方よしに価値観を転換

三方よし



五方よし



©SDGs市民社会ネットワーク

5. マルチステークホルダープロセスを理解する

Agenda21(@Rio Summit)に規定された9つのメジャーグループと、以降の決議によって参画が認められたステークホルダーの総称。大きな民間団体に資金や、発言の「機会」などステークホルダーに対する権力を独占させず、**より幅広いグループとステークホルダーに安全で独立したスペースを提供する**

メジャーグループ

- 女性 (Women)
- 子どもと若者 (Children and Youth)
- 先住民 (Indigenous People)
- NGO (Non-Governmental Organization)
- 地方自治体 (Local Authorities)
- 労働者・労働組合 (Workers and Trade Unions)
- ビジネスと産業 (Business and Industry)
- 科学技術コミュニティ (Scientific and Technological Communities)
- 農業従事者 (Farmers)

その他のステークホルダー

- コミュニティ (Local Communities)
- ボランティアと基金 (Volunteers and Foundations)
- 移民と家族 (Migrants and Families)
- お年寄りと障がい者 (Older Persons and Persons with Disabilities)

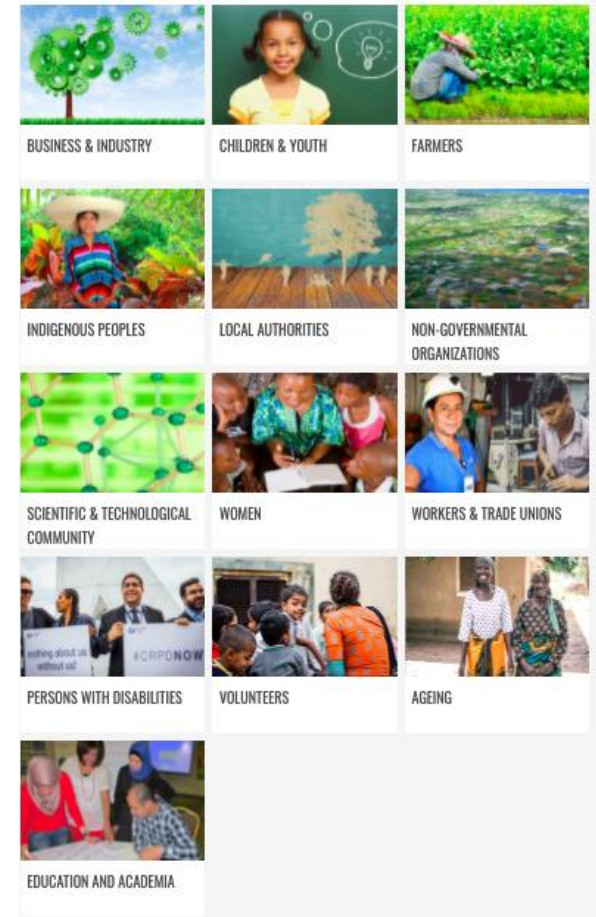


写真: 国連のHPより

統合性(環境・社会・経済)

社会の仕
組みの
根本的な
変革

意識の
根本的な
変革

持続可能な開発目標
(SDGs)の達成



市民社会の視点から

ダイバーシティ・エシカルをしてみる

「普通」を 疑ってみよう

多様性を受け入れることは目標5への貢献

「女らしさ・男らしさ」「あたりまえ」「普通」…。これらの概念から離れてみると、自分自身やだれかの可能性が広がることがあります。ある学校では、生徒からの発案により、希望者が男女の制服を入れ替えてみる取り組みが行われました。「女子はスカート、男子はズボン」といった“普通”から離れて過ごすことで、自分にとっての“普通”と、だれかにとっての“普通”の違いに気付くことができます。SDGsが目指すのは、「多様性のある社会」の実現。

自分にとっての“普通”を疑うことも、SDGsの第一歩と言えるかもしれません。



NIJIIRO
DIVERSITY
特定非営利活動法人
虹色ダイバーシティ

性的マイノリティが働きやすい職場づくりを通じて、性的マイノリティと周囲のアライ（同盟者、支援者）をエンパワーし、すべての人々が生きやすい社会づくりを目指している市民団体です。



SDGsとは、持続可能な世界をつくるために、国際連合本部で、日本を含む世界150か国以上が2030年までに達成することを合意した17の目標です。

企画監修:SDGs市民社会ネットワーク

赤ちゃんは泣くのが仕事です

思いやりの気持ちは目標16への貢献

「赤ちゃんは泣くのが仕事」。気持ちに余裕がある時は受け止められるけれど、そうでない時は眉をしかめたり、これ見よがしに「うるさいなあ」とつぶやいてしまったり…。赤ちゃんを連れている人が「申し訳ない」と窮屈に感じていたら、赤ちゃんもリラックスできません。だからといって、「泣いても大丈夫」と声を掛けるのも勇気のいること。そんな時、「泣いてもいいよ!」という温かい気持ちをステッカーで示す「We♥(ラブ)赤ちゃんプロジェクト」という取り組みがあります。SDGsの理念「誰一人取り残さない」につながる、電車の中でもできる取り組みです。

WE♥

泣いても
いいよ!



赤ちゃんプロジェクト

(参照)

ウーマンエキサイト「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」(<https://woman.excite.co.jp/welovebaby/>)



16 平和と公正を
すべての人に



3 すべての人に
健康と福祉を



SDGsとは、日本を含むすべての国連加盟国が2030年までに達成することを合意した17の「持続可能な開発目標」です。

企画監修:SDGs市民社会ネットワーク

真っ暗から 見えてくるもの

心のバリアフリーは目標10への貢献

体験することによって初めて気付くことがあります。例えば、まちの中の不便。病気や怪我で弱っているとき、それまで気にとめなかった段差や手押し扉が、途端に大きな障壁に変わってしまったと感じたことはないでしょうか。「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」というプログラムでは、光の全くない暗闇空間で、視覚以外の感覚を使って日常生活のさまざまなシーンを体験することができます。体験を通じて得られる気づきをきっかけに、さらにはそれぞれの立場や置かれた状況を想像し、助け合うことが、公平な社会の実現につながります。

「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は、視覚障がい者の案内により「純度100%の暗闇」で視覚以外の感覚やコミュニケーションを楽しむエンターテインメント。大阪では、「対話のある家」(グランフロント大阪(北館4階) 横水ハウス 住ムフムラボ内)で体験できます。



写真提供:ダイアログ・イン・ザ・ダーク



SDGsとは、持続可能な世界をつくるために、国際連合本部で、日本を含む世界150か国以上が2030年までに達成することを合意した17の目標です。

企画監修:SDGs市民社会ネットワーク

もやもやするするけど
みんなで考えよう！
SDGs

自分へのご褒美にケーキを買うとき。
おいしさに加え、幸せが広がる
エシカル^(※)な買い物はどこで？ 

- ① 国産の原材料にこだわっているお店で
- ② 包装やスプーンなどの素材にこだわっているお店で
- ③ 作る人や売る人の多様さにこだわっているお店で

(※)エシカル＝人や社会・環境に配慮した消費行動(消費者庁)

エスディー・ジーズ

SDGsは、貧困、環境、福祉、教育、まちづくりなどの課題解決を目指す17の目標で、それらはお互いに深く関係しています。時には、あっちの課題に気が付いたら、こっちの課題に悪影響が・・・など、正解はひとつではなく、**もやもや**することも。でも、あきらめずに、みんなで考え続けて、バタナ行動を選んでいくことが大切なのです。

①  産や地元の原材料を使うと、それを運ぶエネルギーが少なくなり、CO₂の排出を減らせます。さらに旬の素材を使えば、新鮮で価格も安め。産地を表示しているお店はまだ少ないですが、私たちが尋ねることで、お店が変わるかもしれません。

②  よく使われるプラスチックは便利な素材ですが、海洋プラスチック汚染の問題は深刻です。自然素材でも素敵な包装はありますし、自然界で分解するプラスチックも作られています。家で食べるときは、まず「スプーンはいりません」と、ごみを減らすために声をかけるのも大事です。

③  シカルは、「社会・環境」だけでなく、「人」に配慮した消費行動という点も重要。障がいのある人や外国籍の人も含めて、多様な人がルールに則っていきいきと働いているお店での買い物は、笑顔が広がるきっかけになるはずです。



SDGsとは、持続可能な世界をつくるために、国際連合本部で、日本を含む世界150か国以上が2030年までに達成することを合意した17の目標です。

企画監修:SDGs市民社会ネットワーク

いいチョコチョイスで みんなハッピーに

大切な人へのプレゼントは目標1への貢献

世界には1億5,200万人、10人に1人のこどもが児童労働をしていると言われています(※1)。チョコレート原料となるカカオの生産地では、学校に行かず、家計を支えるために働かざるを得ないこども達がたくさんいます。児童労働の防止につながる取組みのひとつに「フェアトレード」の普及があります。「国際フェアトレード認証ラベル(※2)」がついている商品を購入することで、生産者の家計収入も増え、児童労働を減らすことにつながります。

大切な人へのプレゼントに、
こども達の笑顔につながる
フェアトレードのチョコは
いかがですか？

(※1)特定非営利活動法人ACE
WEBサイト「児童労働入門講座」
(※2)特定非営利活動法人フェアトレード・
ラベル・ジャパン
(https://www.fairtrade-jp.org/about_fairtrade/intl_license.php)



SDGsとは、日本を含むすべての
国連加盟国が2030年までに達成
することを合意した17の「持続可
能な開発目標」です。

企画監修:SDGs市民社会ネットワーク

SDGs市民社会ネットワークについて

【目的】 「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に則り、次世代を含むすべての人が貧困、格差、不平等や差別、様々な形態の暴力、健康の不安から解放され、個人の多様性が尊重され、自然環境と共生し豊かさと人権を享受できる、平和で公正で包摂的な社会の創造に貢献すること。

<事業>

- (1) SDGs達成のための政策提言
- (2) 地域コミュニティや他セクターとの連携の促進
- (3) SDGsの普及啓発



グテレス国連事務総長との対話(2017年12月)



正会員	76
ネットワーク正会員	3
情報会員	49
団体会員	6
企業会員	13
合計	147

(2022年1月末現在)



～あなたのまちから広島へ届けよう～

SDGs折り鶴プロジェクト



5月19日から21日にかけて広島でG7サミットが開催されます。その広島に日本各地から誰一人取り残さない世界の実現と、私たち市民一人一人の想い、そして平和への願いを折り鶴に込めて届けましょう。

Step1 想いを込めて つるを折ろう！

各地の拠点で折るか、折ったつるを拠点に届けよう！
みんなの折り鶴が全国から集まって、大きな願いのメッセージとなって広島に届けられるよ。

※折る紙は古紙やリサイクルペーパーなど環境に優しい紙を使ってね。

Step2 SNSで投稿！

折り鶴の画像を撮って「#SDGsORIZURU」をつけてSNSに投稿しよう！
取組んでいる、関心の高いSDGsの目標がある方は「#SDG●(←目標の数字)」も！

※Twitterのテンプレートも活用してね。

まずは最寄りの拠点を 探してみよう！

- ・プロジェクトの詳細
- ・各地の拠点MAP
- ・各拠点の実施情報などはコチラから



Step3 寄せ書きで メッセージを届けよう！

各地の拠点に設置された旗に、みんなのメッセージを書いて広島に届けよう！

※特定の拠点において実施予定で、設置しない拠点もありますのでご了承ください。



G7市民社会
コアリション2023



SDGs市民社会ネットワーク
地域ユニット



役員一覧

2023年6月28日～2025年総会まで
役職は、就任時

代表理事	大橋 正明	聖心女子大学グローバル共生研究所客員研究員
	三輪 敦子	(一社) アジア・太平洋人権情報センター 所長
理事	今田 克司	(一財)CSOネットワーク 常務理事
	星野 智子	(一社)環境パートナーシップ会議 副代表理事
	長島 美紀	(認定NPO法人)Malaria No More Japan 理事
	大谷 美紀子	弁護士(大谷&パートナーズ法律事務所)
	石原 達也	(NPO法人)岡山NPOセンター 理事長
	森井悠里香	Japan Youth Platform for Sustainability
	中西由起子	(認定NPO法人)ディーピーアイ日本会議 副議長
	新田英理子	(一社) SDGs市民社会ネットワーク事務局長
	本木 時久	日本生活協同組合連合会 執行役員
	小泉雅弘	(NPO法人)さっぽろ自由学校「遊」理事・事務局長
監事	浅見 哲	税理士、税理士法人魁 所長
	田中徹二	グローバル連帯税フォーラム 代表

SDGsジャパン

分野別事業ユニットの幹事団体一覧

<開発>

国際協力NGOセンター
ワールド・ビジョン・ジャパン
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

<環境>

「環境・持続社会」研究センター(JACSES)
環境パートナーシップ会議

<教育>

教育協力NGOネットワーク

<国際保健>

ウォーターエイドジャパン

<ジェンダー>

ジョイセフ
JAWW(日本女性監視機構)

<社会的責任>

社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク
NPOサポートセンター
難民を助ける会
人と組織と地球のための国際研究所
北海道国際交流センター

<障害>

DPI日本会議

<地域>

岡山NPOセンター
日本NPOセンター

<ビジネスと人権>

国際協力NGOセンター

<貧困>(設立準備)

自立生活サポートセンター・もやい

<防災・減災>

防災・減災日本CSOネットワーク

<ユース>

Japan Youth Platform for Sustainability

<事務局お問い合わせ先>

一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク
東京都千代田区飯田橋1-7-10 山京ビル本館604号
TEL:03-5357-1773 FAX:03-5357-1774
office@sdgs-japan.net



とっとり県民活動活性化センターと鳥取県のSDGs推進の活動



交流、研修、連携プロジェクト

- ・SDGsをテーマにした「CSRセミナー」(県委託)
R1 3回(東・中・西部) R2 3回(オンライン)
R3 1回(オンライン)+**1回(1月19日、オンライン)**
- ・とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン R1~R3
寄付つき商品の開発・マッチング・普及 **R3.11~12実施中!**
- ・47コロナ基金とっとりつながるプロジェクト
コロナ禍子ども子育て実態調査(米子市)の報告 **R4.3シンポ開催**
- ・共助による地域づくりネットワーク形成
運営:県・**活性化センター(事務局)** **R3.12発足**

SDGs意見交換会・活動交流会

- R1~R2 意見交換会(5回)
コロナ禍・子ども子育て勉強会(3回)
- R3 子ども子育て・災害時支援意見交換会(オンライン)
コロナ禍でのSDGs活動交流会(1月30日、鳥取)
- ①子ども・子育て、②地域コミュニティ
③小規模事業者のなりわい

とっとりSDGsプラットフォーム

- R1.8「とっとりSDGs推進会議」発足
- R3.4改称 登録:約100【NPOが多い】
- 運営:**活性化センター(事務局)**



フラットな参加型プラットフォーム

NPO等 企業・団体 学校・大学 行政等 市民・専門家

①情報交換・共有、学びと交流 ②情報収集・発信 ③連携・協働の推進

事務局(公益財団法人とっとり県民活動活性化センター)

SDGs
取組相談

伴走支援、申請相談等

若者×地域づくり
活動団体交流会
(県との共催)

県とっとりSDGs推進補助金(若者・広報・研修)(県委託)
*企業等向け県補助金の審査会参加
「SDGs推進モデル創出」「ESGプロジェクト支援」

伴走支援
申請相談

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム助成(資金分配団体)
とりぎん青い鳥基金助成(SDGs:④教育・⑩まちづくり)(協働)
ごうぎんSDGs私募債(地域おこし型・NPO)(協働) 等

鳥取県×とりぎんSDGsアワード
R3.1 (活性化センター協力)
子ども・若者のアイデアを企業NPOとマッチング

とっとりSDGsシーズン2021
R3.11~12 オンラインフォーラム イベント等

とっとりSDGs 伝道師制度

R3.5スタート→講師派遣
運営:県・**活性化センター(県委託)**



連携

とっとりSDGsパートナー制度

R2.9スタート 登録:約400【企業が多い】
運営:県・**活性化センター(県委託)**

補助金・助成金

とっとりSDGsネットワーク
R2.11発足
運営:県(事務局)・**活性化センター**

とっとりSDGs
若者ネットワーク
R2.8発足, 運営:県

とっとりSDGs
自治体ネットワーク
R3.4発足, 運営:県

鳥取県SDGs推進・温室
効果ガス削減対策本部
R3.4再編・発足

鳥取県
とっとりSDGs宣言
R2.4新時代・SDGs推進課

●住民によるSDGsへの取組
評価ランキング2年連続1位
(株式会社ブランド総合研究所)

民間連携ネットワーク

官民連携ネットワーク

鳥取県

50 （新アジェンダの歴史的意義）

『今日我々もまた、偉大な歴史的な重要性を持つ決定をする。我々は、すべての人々のためによりよい未来を作る決意である。人間らしい尊厳を持ち報われる生活を送り、潜在力を発揮するための機会が否定されている数百万という人々を含むすべての人々を対象とした決意である。我々は、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。同様に、地球を救う機会を持つ最後の世代になるかも知れない。我々がこの目的に成功するのであれば2030年の世界はよりよい場所になるであろう。』

（持続可能な開発のための2030アジェンダ「宣言」第50段落



ご清聴ありがとうございました。
nitta@sdgs-japan.net